# 比叡山～マルチピッチクライミング～

【報　告　者】N・I・K
【日　　時】２０１６年５月７日、８日　　【天　候】晴れ
【参　加　者】N（リーダー）、I、0、K、I、N

**≪　報　　告　≫**

ゴールデンウイーク最後の５月７日、８日で比叡山マルチピッチを楽しんできました。道路状況を心配しましたが、I さんの事前調査のおかげで通行止めに出会うこともなく、九重ＩＣ…瀬の本…産山村…（広域農道）…高千穂…比叡と順調に到着。
快適な公民館をベースに６人３パーティーで充実したクライミングを楽しむことができました。

5月７日（土）
＜３KN：N・K＞報告者：N
久しぶりの比叡山。前日までの雨で下部取り付きは濡れている。当然ながら１ピンまでは遠く、緊張する。
１ピッチ目からいきなりルートを間違えて、右上してしまう。ＴＡカンテを登るため取り付きで待っていた N さんから注意され、途中から左の正規ルートへトラバース。

なんとか修正できたものの、フォローが万一落ちたとき、大きく振られることになり、大いに反省する。フォローの K さんには、長いシュリンゲをハンガーに通して自己確保した上で最後のヌンチャクをはずし、安定したスタンスにのったところでシュリンゲを回収してもらう。
その後のピッチは、K さんとツルベで、好天の比叡山を満喫した。K さんは、初めてのツルベだということだが、ランナウトに臆することなく、安定したリードクライミングだった。

＜みつばツツジの道ルート：I・I＞報告者：I
　自分にとって，初のツルベでのマルチ。奇数ピッチＩさん、偶数ピッチＩで行くことに。難しいピッチはＩさんの担当。

1 ピッチがこのルートの最難で 6 級。取り付き直後は、びっしりとコケが生えており、それが昨日までの雨で濡れてヌルヌルになっていた。慎重にリードするＩさん。途中、カムを 3 個使っていた。フォローのＩは 1 ピッチ中盤のヌルヌル斜めクラックでさっそくテンション。6 級の難しさを思い知らされる。

2 ピッチは、去年のマルチ講習以来の自分でのリード。緊張で動きが硬い。ボルトはスタート直後に 1 本あるだけ。左斜めに進むトラバースのピッチで 1 箇所足場の悪い所がある。慎重に登ってクリア。

次の 6 級マイナスが難しかったが、後のピッチは快適に登ることができた。

5 月 8 日（日）

＜3 スラ：N・0＞報告者：N

前夜、あみだクジで決まったパートナー0 さんと 3 スラへ。

過去に登った記憶がおぼろげながらあったが、核心のスタンスに立ってやっと鮮明に思い出した。こりゃ難しかったと後悔するも登るしかない。

私にとって、このルートの核心部分は 3 箇所。

まず、3 ピッチ目の中間くらい。つい右上してしまうところがあるが、左トラバースが正解で、左手でカチ、足はスメアでじわりと体重移動する。

次に、4 ピッチ目の出だしで大きなフレークをアンダーで上がっていく部分。

最後に、5 ピッチ目の後半のややハングしている部分で、この乗越しが難しい。フリーのゲレンデなら問題ないムーブかもしれないが、マルチで安定してやれる自信がないので、今回はＡ１。全体と通してピン間は非常に遠いので、安心したければカムは必携。今回は、ドラゴンカムの 00、1、3 の三本を持っていったがサイズが合わずに苦労した。

しかし、最大の核心は、0 さんがリードしていた最終ピッチ。草つきまで入った後、体を引き上げるために掴んだ大きな岩が剥げて 2 mほど転落。草つきで止まったが本当にヒヤリとした。とても難しいルートだったが、0 さんは頑張って登ってくれたし、リードもやれる気持ちの強さに感心した。

＜失われた草付きルート：I・I＞報告者：I

二日目も難しいピッチはＩさんに当たるように、奇数ピッチＩさん、偶数ピッチI。ルートで最もグレードが高いのは 1 ピッチ目だが、3 ピッチ目が最も難しく感じた。傾斜のきついスラブを左手縦カチ、右手スローパー、足はスメアで行かなければならない。その次は左手でワンフィンガーポケットを取る。リードするＩさんの背中から気合いが感じられた。しかし、さすがのＩさん問題なくクリア。

自分の担当ピッチは、リードに慣れてきて、易しいピッチということもあり、程よい緊張感で登ることができた。これからは、まずは簡単なピッチでいいから、自分でリードするようにしたいと思った。

初日の夜は、K さんが用意してくれた、おでん、ニラ玉、餃子、焼きそばを囲んでお酒を飲んだ。どれもおいしかったが、特に、家でいったん煮てきたというおでんが最高だった。

コンディションも良く、最高のクライミングでした。一緒に行って下さった皆さん、ありがとうございました。

＜ナックルスラブ：N・K＞報告者：K

1 ピッチ目：リード・N、ＴＡカンテ・3ＫＮともに 1 ピッチ目は同じである。取り付きが濡れていていたことから、ビレイも安定する 1 ピン目直下よりスタートする。大丈夫って思っても・・・やはり、1 ピッチ目は緊張する。2 ピッチ目：リード・K、得に難しい箇所はないが、やっぱり緊張する。ピン間が遠いのが気になる。途中オブザベを誤ってしまい、岩が濡れていたことからクライムダウンする。N さんが、もの凄いスピードで登ってきたので驚いた。3 ピッチ目：リード・N、1 ピン目～トラバースポイントまで、カチをつなぐ。ビレイポイントの岩は完全に濡れコケっており、木を掴みよじ登る。4 ピッチ目：リード・N、目の前にある岩を超えるもここがルートなのか分からず、クライムダウンし、右へ。隣のルート「奥の細道」の支点がみえるが、よくわからない。結局岩を右側から登りルートへ戻る。どうやら岩は直登しないといけない様だ？！。5 ピッチ目：リード・N、2 ピン目手前はカチをつなぐ。見るからにもろく今にも剥がれそうな岩は、手が触れると軽い音がする。これが剥がれたらと思うと非常に怖かった。

このルートでは、N さんに甘えてしまい、力になれないことが、とても申し訳なかった。いつかツルベで行ける様、練習を重ねていきたい。

昨年の講習会以来ずっと比叡に行きたいと思っていたので、とても楽しみにしていました。天気にも恵まれ充実した2日間でした！また色々なルートを行ってみたいです。みなさまありがとうございました！